

令和5年12月5日（火）

自分の強さを誇りなさい

鬼滅の刃第14巻の124話「いい加減にしろ バカタレ」の中に出てくる産屋敷耀哉（うぶやしき かがや）が発した言葉です。

自分自身に悩んでいた甘露寺蜜璃（かんろじ みつり）に対して、耀哉は、「素晴らしい。君は神様から特別愛された人なんだよ蜜璃。自分の強さを誇りなさい。君を悪く言う人は皆君の才能を恐れ羨ましがっているだけなんだよ。」と言いました。

もし、あなたが誰かから悪口や陰口を言われることがあったら、それは、耀哉が言うように、相手があなたの才能を恐れ、羨ましがっているだけなのです。

赤ちゃんが、誰からも愛され、何をしても許されても、それをうらやましがったりひがんだり、ねたんだりはしません。それは、誰も赤ちゃんのようになりたいとは思っていないからです。

「うらやましい」という感情は強い願望の裏返しです。ですから、誰からか悪く言われたとしても、自分自身を誇っていいのです。「うらやましい」という負の感情は、あなたがある一線を越えて、太刀打ちできない存在になったときに、憧れという正の感情に変わります。そして、そのときには、あなた自身も何を言われても動じない誇り高きところへ到達していることでしょう。

もし、努力を重ねても自分自身を誇れないのだとしたら、親しい人にあなたの長所をたくさん教えてもらってください。きっと何人からか、同じ長所を教えてもらえるはずです。それらを見つめ直して、自分の誇れるところとして、さらに伸ばして行ってください。

人から羨ましがられるほどの才能を身につけ、誇り高き人生を送りましょう。